

ブロッコリー (アブラナ科)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
			タネまき	植えつけ			収穫(頂花蕾)	収穫(側花蕾)			

〔中生種〕 中生緑、緑嶺、キャッスル

〔中晩生種〕 中晩生緑、磯緑、翠嶺

栽培ポイント

カリフラワー同様に冷涼な気候を好みますから、作りやすいのは秋まきです。栽培が長期間になるので、日当たりがよく、有機質に富んだ肥沃な畑で栽培します。また、苗のよしあしがその後の生育に大きな影響を与えるので、苗を順調に育てることがたいせつです。タネまき、育苗の方法はカリフラワーと同じですから、カリフラワーを参照してください。

茎の太い、がっちりした苗に育てるには、タネを極力薄まきにして、早めに鉢上げを行い、少々おれても水やりを控えて徒長を防ぐことです。

植えつけ後、根張りのよい苗に育てるには、深耕して、土作りをきちんとしてから植えつけを行い、追肥は早めに施し、初期の生育を促進してやります。同時に、中耕、除草をして、株元に十分土寄せをします。

害虫の防除もたいせつで、カリフラワーにくらべてアオムシ、ヨトウムシがつきやすいので、注意して観察し、初期の防除を徹底します。

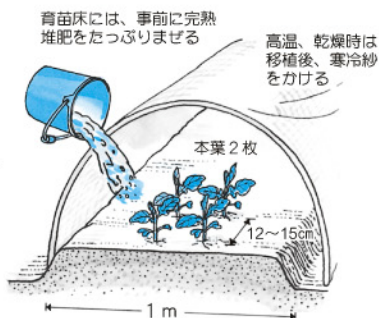
頂花蕾が10cmぐらいになったころ収穫しますが、株を切り倒さずに、花蕾の下から切りとり、追肥をして、わき蕾を育てて収穫します。

栄養

カリフラワーよりも、ビタミン類やミネラルが多く、特にビタミンCが豊富なほか、カロチンも含まれており、栄養価の高い野菜です。

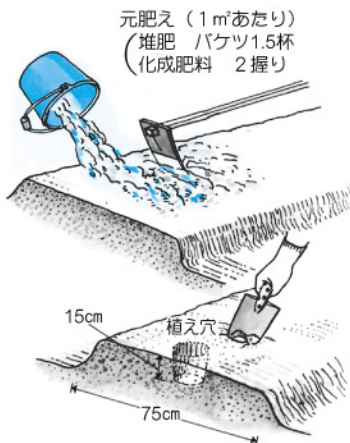
1 移植

タネまき、鉢上げ育苗はカリフラワーと同じ方法で行うが、鉢上げのかわりに、本葉2枚になった苗を育苗床に移植して定植苗に育ててもよい。



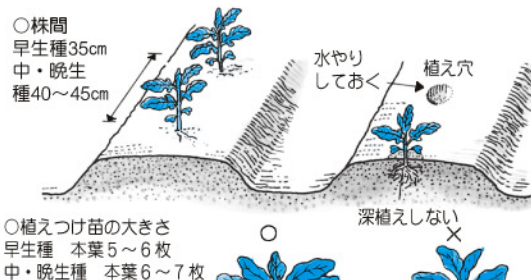
2 畝作り

多湿に弱いので、まず排水のよい畑を選び、あらかじめ苦土石灰を施して(1㎡あたり2握り)耕しておき、植えつけの1週間前に全面に元肥えをまいて畝を作る。



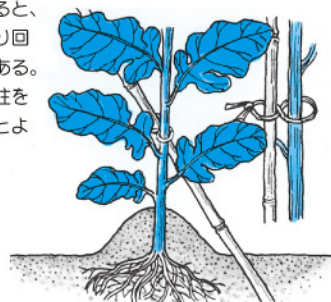
3 植えつけ

不良な苗はとり除き、がっちりしたよい苗だけを選んで植えつける。植えつけの3~4時間前に植え穴に十分水やりし、植えつけ後もたっぷり水を与えて植え傷みを防ぐ。



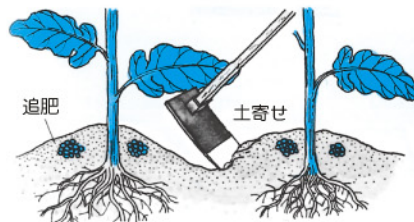
5 支柱立て

地上部が大きくなると、台風などの強風に振り回されて倒れることがある。土寄せ後、さらに支柱を、茎を結束するとよい。



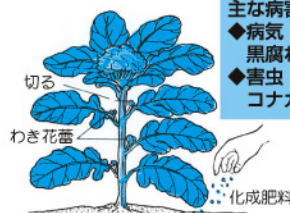
4 追肥・土寄せ

しばらくすると、急速に地上部が大きくなるので、その直前の追肥がポイント。植えつけてから20日前後と、その20日後に、それぞれ化成肥料を軽く1握りずつ株元に施して中耕し、土寄せをする。



6 収穫

頂花蕾の直径が10cmぐらいになったら、収穫する。頂花蕾専用の品種以外は、わき花蕾が生長してくるので、頂花蕾を収穫後再び追肥をする。



主な病害虫

- ◆病気 苗立ち枯れ病、べと病、黒腐病
- ◆害虫 アブラムシ、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ